



安全データシート

発行年月日 2014年4月24日 改訂年月日 2026年10月14日

改訂番号 1

1. 化学品および会社情報

項目	内容
製品名	N2
含有成分	混合物（テトラデカン、デカン等を含む）
推奨用途	粘度計および密度測定機器の校正・性能確認用標準液
供給者(国内責任事業者)	株式会社エスティーエム 〒350-0436 埼玉県入間郡毛呂山町川角502-6 電話番号：049-276-1060 FAX：049-276-1059
製造者(海外)	Cannon Instrument Company 2139 High Tech Rd., State College, PA 16803-1733, USA 電話番号：(814) 353-8000 もしくは (800) 676-6232
緊急連絡先	(国内) 049-276-1060（株式会社エスティーエム） (海外) +1 (800) 255-3924 Domestic CHEM-TEL Inc. +1 (813) 248-0585 Overseas CHEM-TEL Inc.

2. 危険有害性の要約

危険有害性の種類	区分(GHS / JIS)	H文言
急性毒性（吸入）	区分4	H332：吸入すると有害
皮膚腐食性/刺激性	区分2	H315：皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	区分2	H319：強い眼刺激
誤えん有害性	区分1	H304：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

	内容	表示
GHS 絵表示		
	P文言	
P261	蒸気・ミスト等を吸入しないこと。	
P264	取扱後は顔、手、皮膚に接触した箇所をよく洗うこと。	
P280	保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。	
P301 + P310	【誤飲】直ちに医師または中毒情報センターに連絡をすること。	
P312	気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡すること。	
P331	無理に吐かせないこと。	

急性毒性（未知）

混合物の96.1%は、急性吸入毒性（蒸気）が不明な成分で構成されている。.

追加情報

本製品を一般消費者に供給する場合、子供が容易に開けられない構造の備わった容器が必要である。また、一般消費者に供給する場合、触覚による危険警告が必要である。

その他の危険有害性

- ・ 可燃性液体

3. 組成及び成分情報

成分名	CAS番号	含有率 (質量%)	化審法	安衛法	備考
テトラデカン	629-59-4	> 95	既存	非該当	• EC番号 : 211-096-0 • H315 : 皮膚刺激 (区分2) • H319 : 強い眼刺激 (区分2) • H304 : 急性毒性 (区分1)
デカン	124-18-5	< 5	既存	該当	• EC番号 : 204-686-4 • H332 : 急性毒性 (吸入) (区分4) • H315 : 皮膚刺激 (区分2) • H319 : 強い眼刺激 (区分2) • H336 : 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 麻酔作用 (区分3) • H304 : 急性毒性 (区分1) • H226 : 引火性液体 (区分3)
3-メチルノナン	5911-04-6	0.08	既存	非該当	• EC番号 : 227-631-6 • 作業環境曝露限界値および／または生物学的職業曝露限界値が設定されており、モニタリング (監視・測定) を必要とする成分
5-メチルノナン	15869-85-9	0.04	既存	非該当	• 作業環境曝露限界値および／または生物学的職業曝露限界値が設定されており、モニタリング (監視・測定) を必要とする成分

急性毒性推定値 (ATE)

化学物質名 (CAS 番号)	経口 LD50 (mg/kg)	経皮 LD50 (mg/kg)	吸入 LC50・4時間 (粉じん/ミスト) (mg/L)	吸入 LC50・4時間 (蒸気) (mg/L)	吸入 LC50・4時間 (ガス) (ppm)
テトラデカン (629-59-4)	5000	5000	データなし	データなし	データなし
デカン (124-18-5)	5000	2000	データなし	11.2664	データなし

高懸念物質 (SVHC) に関する情報

本製品には、REACH規則 (EC) No. 1907/2006 第59条に基づく高懸念物質 (SVHC) の候補リスト収載物質は、0.1重量%以上の濃度では含まれていない。

4. 応急措置

項目

応急処置

一般事項

直ちに医師に本安全データシートを提示し、医師の診察を受けること。

吸入

誤えんにより、重篤な肺障害を引き起こす可能性あり。呼吸が止まっている場合は人工呼吸を行い、直ちに医師の診察を受けること。新鮮な空気のところへ移すこと。皮膚との直接接触を避けること。口対口の人工呼吸を行う場合は、バリア器具を使用すること。呼吸困難時は、訓練を受けた者が酸素を投与し、直ちに医師の診察を受けること。。遅発性の肺水腫が発生する可能性あり。

皮膚接触

石けんと大量の水で最低15分は洗浄すること。症状が現れた場合は医師の診察を受けること。

眼へのばく露

大量の水でまぶたの裏まで、最低15分は十分に洗浄すること。コンタクトレンズを装着しており、容易に取り外せる場合は、コンタクトレンズを取り外すこと。水で眼を洗い続けること。洗顔中は眼を開けたままであること。接触した箇所はこすらないこと。症状が現れた場合は医師の診察を受けること。

飲み込み

【誤えん】飲み込んで気道に侵入すると、肺に損傷を引き起こすおそれ。無理に吐かせないこと。吐いた場合は、頭部を腰より低くして気道への侵入を防ぐこと。口をすすぐこと。意識のない者には経口で何も与えずに与えないこと。直ちに医師の診察を受けること。

応急措置を行う者の自己防護	全ての着火源を除去すること。医療従事者が関係する物質を認識できるようにすること。自己を保護し、汚染の拡大を防止するための予防措置を講じること。皮膚との直接接触を避けること。皮膚、眼または衣類との接触を避けること。人工呼吸を行う場合は、感染防止用のバリアを使用すること。必要に応じて個人用保護具を使用すること。蒸気またはミストの吸入を避けること。詳細は第8章を参照すること。
症状	呼吸困難。咳および/または喘鳴。めまい。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれ。灼熱感。
ばく露による影響	第11章を参照すること。
医師への注意事項	誤えんの危険性があるため、追加の有害物質が存在し、必要と判断される場合を除き、催吐または胃洗浄を行わないこと。

5. 火災時の措置

- 使用可能な消火剤 粉末消火剤、二酸化炭素 (CO₂)、泡消火剤
- 使用してはならない消火剤 特に指定なし。
- 特有の危険性 製品および空容器を熱源および着火源から遠ざけること。火災が発生した場合は、噴霧水でタンクを冷却すること。
- 燃焼により発生する有害な分解生成物 一酸化炭素、二酸化炭素 (CO₂)。
- 消火者保護具 消火活動を行う者は、自給式呼吸器および完全な防火用防護服を着用すること。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体への保護措置

安全な場所へ避難すること。必要に応じて個人用保護具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講じること。漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。十分な換気を確保すること。皮膚、眼および衣類との接触を避けること。蒸気またはミストを吸入しないこと。詳細は第7章および8章を参照すること。

環境汚染防止策

安全に実施できる場合は、さらなる漏出又は流出を防止すること。

封じ込めおよび収集方法

安全に実施できる場合は、漏出を止めること。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしないこと。廃棄に備え、漏出箇所より十分手前で堤防を設け、流出を食い止めること。静電気の放電に対する予防措置を講じること。堤防を設けて流出を防ぐこと。不活性吸収材で吸収し、回収した物質は、適切なラベルを貼付した容器に移し替えること。環境関連法規を遵守しながら、汚染された物品および区域を十分に洗浄すること。

その他の詳細については、第8章、第13章を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い時の注意

個人用保護具を使用すること。蒸気またはミストを吸入しないこと。熱、高温の表面、火花、裸火、その他の着火源から遠ざけること。本製品取り扱い時は飲食禁止。禁煙。静電気の放電に対する予防措置を講じること。局所排気装置を使用すること。適切な産業衛生および安全管理の慣行に従って取り扱うこと。皮膚、眼および衣類との接触を避けること。汚染された衣類は脱ぎ、洗濯してから再利用すること。換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用すること。

衛生管理

本製品取り扱い時は飲食禁止。禁煙。汚染された作業着を作業場外に持ち出さないこと。設備、作業区域および衣類は定期的に清掃すること。休憩前および本製品を取り扱った直後に、手を洗うこと。適切な保護手袋および眼・顔面の保護具を着用すること。皮膚、眼、衣類との接触を避けること。

保管条件

容器は密閉し、乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。熱、火花、炎およびその他の着火源（パイロットランプ、電動機、静電気など）から遠ざけること。適切なラベルを貼付した容器に保管すること。国および自治体の関連法規を遵守し、保管すること。施錠して保管すること。どもの手の届かない場所に保管すること。他の物質とは分けて保管すること。

※参考：LGK 10（可燃性液体）（ドイツ）

その他の詳細については第1.2項を参照すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度(参考値)

成分名	フランス	ラトビア	デンマーク	エストニア	リトアニア
デカン 124-18-5	TWA: 1000 mg/m ³ STEL: 1500 mg/m ³	TWA: 100 mg/m ³ STEL: 300 mg/m ³ -	TWA: 45 ppm TWA: 250 mg/m ³ STEL: 90 ppm STEL: 500 mg/m ³	TWA: 350 mg/m ³ STEL: 500 mg/m ³	TWA: 350 mg/m ³ STEL: 500 mg/m ³
3-メチルノナン 5911-04-6	TWA: 1000 mg/m ³ STEL: 1500 mg/m ³	TWA: 100 mg/m ³ STEL: 300 mg/m ³ -	TWA: 65 ppm TWA: 350 mg/m ³ STEL: 130 ppm (n-デカン以外) STEL: 700 mg/m ³ (n-デカン以外)	TWA: 350 mg/m ³ STEL: 500 mg/m ³	TWA: 350 mg/m ³ STEL: 500 mg/m ³
5-メチルノナン 15869-85-9	TWA: 1000 mg/m ³ STEL: 1500 mg/m ³	TWA: 100 mg/m ³ STEL: 300 mg/m ³	TWA: 65 ppm TWA: 350 mg/m ³ STEL: 130 ppm (n-デカン以外) STEL: 700 mg/m ³ (n-デカン以外)	TWA: 350 mg/m ³ STEL: 500 mg/m ³	TWA: 350 mg/m ³ STEL: 500 mg/m ³

成分名	スウェーデン	ルーマニア	ノルウェー
テトラデカン 629-59-4	-	TWA: 700 mg/m ³ STEL: 1000 mg/m ³	TWA: 40 ppm TWA: 275 mg/m ³ STEL: 60 ppm STEL: 343.75 mg/m ³
デカン 124-18-5	NGV: 350 mg/m ³	TWA: 700 mg/m ³ STEL: 1000 mg/m ³	TWA: 40 ppm TWA: 275 mg/m ³ STEL: 60 ppm STEL: 343.75 mg/m ³
3-メチルノナン 5911-04-6	NGV: 350 mg/m ³	TWA: 700 mg/m ³ STEL: 1000 mg/m ³	TWA: 40 ppm TWA: 275 mg/m ³ STEL: 60 ppm STEL: 343.75 mg/m ³
5-メチルノナン 15869-85-9	NGV: 350 mg/m ³	TWA: 700 mg/m ³ STEL: 1000 mg/m ³	TWA: 40 ppm TWA: 275 mg/m ³ STEL: 60 ppm STEL: 343.75 mg/m ³

生物学的職業ばく露限界値

本製品は、供給された状態では、地域ごとの規制機関によって生物学的ばく露限界値が設定されている有害物質を含有していない。

導出無影響レベル (DNEL) - 作業中、一般ともにデータなし

予測無影響濃度 (PNEC)

成分名	淡水	淡水 (間欠的放出)	海水	海水 (間欠的放出)	大気
デカン 124-18-5	1.2 µg/L	4.5 µg/L	1.2 µg/L	-	-
成分名	淡水底質	海洋底質	下水処理施設	土壌	食物連鎖
デカン 124-18-5	0.33 mg/kg (乾燥重量)	0.33 mg/kg (乾燥重量)	18 µg/L	0.13 mg/kg (乾燥重量)	-

技術的対策

シャワー設備、洗眼設備、局所 / 全体換気設備設置すること。

個人用保護具

用途	保護具内容
眼・顔の保護	密着型の保護ゴーグルを着用すること。（JIS T 8147:2026）
手の保護	適切な保護手袋を着用すること。不浸透性の手袋を使用すること。（JIS T 8116:2005）
皮膚・身体	適切な保護具を着用すること。長袖の衣類を着用すること。
呼吸用保護具	通常の使用条件では、呼吸用保護具は必要ない。ばく露限界値を超える場合、又は刺激が生じた場合には、換気及び退避が必要となることがある。

衛生管理

本製品取り扱い時は飲食禁止。禁煙。汚染された作業着を職場の外に持ち出さないこと。設備、作業区域および衣類は定期的に清掃すること。休憩前および本製品を取り扱った直後に、手を洗うこと。適切な保護手袋および眼・顔面の保護具を着用すること。皮膚、眼、衣類との接触を避けること。

環境管理

データなし。

9. 物理的及び化学性質

項目	記載内容
外観 / 状態	無色液体
匂い	炭化水素臭
融点 / 凝固点	< 6 °C
初留点/沸点範囲	> 171 °C
引火性	可燃性液体
引火点	> 65 °C（密閉式）
動粘度	2 cSt（40 °C）
水への溶解度	水に不溶
溶解性	溶剤に可溶
その他の情報	データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性：通常使用・保管条件下では反応なし。
- 安定性：通常使用・保管条件下では安定している。
- 危険反応の可能性：通常の使用条件下では反応なし。
- 爆発データ：なし。
- 避けるべき条件：熱、炎、火花および不適合物質を避けること。
- 混触危険物質：強酸、強塩基、強酸化剤。
- 危険有害な分解生成物一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO₂）

11. 有害性情報

ばく露経路に関する情報

項目	内容
吸入	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。吸入すると、重篤な肺障害を引き起こす可能性あり。肺水腫を引き起こす可能性あり（肺水腫は致命的となるおそれ）。呼吸器への刺激を引き起こす可能性あり。吸入すると有害。
眼への接触	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。眼に接触すると、強い刺激を引き起こす可能性あり。発赤、かゆみ及び疼痛を引き起こすおそれがある。
皮膚への接触	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。反復曝露により、皮膚の乾燥またはひび割れを引き起こす可能性あり。皮膚刺激を引き起こす。
経口	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。飲み込んだ場合、気道への誤えんのおそれ。飲み込むと肺障害を引き起こす可能性あり。誤えんにより、肺水腫および肺炎を引き起こす可能性あり。飲み込んだものが気道に入ると、致命的となるおそれ。飲み込むと、胃腸への刺激、悪心、嘔吐及び下痢を引き起こすおそれがある。

物理的、化学的および毒性学的特性に関連する症状

呼吸困難。咳および/または喘鳴。めまい。発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

急性毒性

吸入すると有害。

毒性に関する数値的指標(GHS文書の3.1章に基づいて算出)

ATE混合物 (経皮) 52,963.00 mg/kg以上

ATE混合物 (吸入：蒸気) 11.60 mg/l 以上

急性毒性 (未知)

混合物の96.1%は、急性吸入毒性（蒸気）が不明の成分で構成されている。

成分名	経口 LD50	経皮 LD50	吸入LC50
テトラデカン	> 5000 mg/kg (ラット)	> 5000 mg/kg (ウサギ)	-
デカン	> 5000 mg/kg (ラット)	> 2000 mg/kg (ラット)	> 1369 ppm (ラット) 8 時間

短期および長期ばく露による遅発性・即時性の影響ならびに慢性的な影響

皮膚腐食性 / 刺激性

成分について入手可能なデータに基づき分類。皮膚刺激を引き起こす。

重篤な眼の損傷性 / 眼刺激性

成分について入手可能なデータに基づき分類。重篤な眼刺激を引き起こす。

誤えん有害性

飲み込んだ物質が気道に侵入すると、死亡するおそれがある。

その他の有害な影響

入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない、もしくはデータなし

12. 環境影響情報生態毒性

成分名	藻類 / 水生植物	魚類	微生物	甲殻類
デカン 124-18-5	-	-	-	EC50: =0.029mg/L (48時間 オオミジンコ)

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性

成分名	分配係数
テトラデカン	7.2
デカン	5.1

土壌中の移動性：データなし。

PBTおよびvPvB評価：PBT／vPvBに該当なし。

内分泌かく乱作用：本製品には内分泌かく乱物質として既存、またはその疑いがある物質は含まれていない。

13 : 廃棄上の注意

- 本製品や未使用残渣は、家庭廃棄せず、法令に基づき都道府県等の許可を得た産業廃棄物処理業者へ委託すること。
- 汚染された容器や包装は再利用せず、内容物を除去し密閉の上、専門業者に廃棄を依頼すること。
- 漏洩や消火に使用された液体は、下水道、河川、土壌へ流さず、必ず隔離・回収後に処理すること。
- リサイクルが困難な場合は、適正な処理を実施し、処理結果が法令に適合していることを確認すること。
- 廃棄物コードは用途に応じて使用者が決定すること。

14 : 輸送上の注意

項目	内容
UN番号	該当なし（国際輸送規制上は非危険物）
輸送上の名称	該当なし
危険物クラス	該当なし
包装等級	該当なし
海上汚染性	該当なし
適用規則	航空輸送（IATA）、海上輸送（IMDG）、鉄道輸送（RID）、陸上輸送（ADR） のいずれも規制対象外
国内陸上輸送	危険物 第4類第3石油類（非水溶性液体）危険等級Ⅲ
国内海上輸送	船舶安全法に従う。
国内航空輸送	航空法に従う。

15. 適用法令

法令名	該当性	備考(管理番号や分類等)
労働安全衛生法（安衛法）	該当	デカン： ・ 名称等を表示すべき危険有害物（法第57条） ・ 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2） ・ リスクアセスメント対象物（法第57条の3）
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	非該当	-
特化則 / 有機則（有機溶剤中毒予防）	非該当	-
PRTR 法（化管法）	非該当	-
消防法（危険物規制）	該当	危険物 第4類第2石油類（非水溶性液体）危険等級Ⅲ
化学物質審査規制法（化審法）	該当	テトラデカン、デカン、 3 - メチルノナン、5 - メチルノナン： 全て既存化学物質、MITI No. 2-10

16. その他の情報

H文言：

- ・ H226 - 引火性の液体および蒸気
- ・ H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・ H315 - 皮膚刺激
- ・ H319 - 強い眼刺激
- ・ H332 - 吸入すると有害
- ・ H336 - 眠気またはめまいのおそれ

略語：

- ・ SVHC：認可対象となる高懸念物質
- ・ PBT：難分解性・生物蓄積性・毒性を有する物質
- ・ vPvB：極めて難分解性が高く、かつ極めて生物蓄積性が高い物質
- ・ STOT：特定標的臓器毒性
- ・ ATE：急性毒性推定値
- ・ LC50：半数致死濃度
- ・ LD50：半数致死量
- ・ TWA：許容濃度（時間加重平均）
- ・ STEL：短時間ばく露限界値
- ・ Ceiling：天井値（ばく露濃度の上限値）
- ・ SCBA：自給式呼吸器
- ・ Sk*：皮膚吸収に関する注記

発行日：2014年4月24日

改訂日：2026年10月14日

参照元SDS（英語版）：Revision 17-Nov-2023

参考文献：

- 欧州CLP規則（EC 1272/2008）
- JIS Z 7252:2025（化学品の分類に基づく表示及び文書による警告）
- JIS Z 7253: 2025（安全データシートの作成方法）
- 経済産業省 GHS分類ガイダンス
- 各成分のSDS（製造者公表値）

免責事項：

本SDSは、現時点で入手可能な情報と知見に基づいて作成したものであり、安全性を完全に保証するものではありません。本資料は、化学品の適正な取扱い、安全対策、法令遵守のための参考資料であり、特定の使用条件における適合性や性能を保証するものではありません。使用者は、適用される法規制および使用条件に従って、本製品を安全に取り扱う責任を負います。

安全データシート終わり